

賀露地区 地域の未来づくり懇談会 開催概要

- 1 日時 令和7年10月24日(金) 18時30分～20時00分
- 2 場所 賀露地区公民館
- 3 出席者 地区18名 市6名【都市整備部長（河川公園課）、市民生活部長（協働推進課）】
- 4 テーマ 鳥取市「吉備真備展望公園」（よなぐら）の造成拡大化について
- 5 概要

【地元あいさつ】

自治会理事会で5月から議論し、賀露神社の宮司さんにもお話をさせていただき、今回は鳥取市の吉備真備展望公園（よなぐら）の造成拡大化をテーマとしてお願いすることとした。賀露町のまちなみは昔と変わってきており、北側には古い地域と、以前畠だった地域に新しく家が建ち拡大している。古い北側の地域は密集地で、住む人がいなくなり新しい家を建てることもできないという課題もある。

本日は、これまで要望しているよなぐらをテーマとし、意見交換したいと思う。

【市民生活部長あいさつ】

前回は平成30年に地域づくり懇談会を開催し「まちづくりを考えましょう」をテーマに意見交換をしている。その当時、賀露自治会の皆様が新しい体制を作られるということで、協働推進課も、皆様と意見交換させていただき、先進地である豊岡市への視察には一緒に参加させていただいた。私どもも大変勉強になった、あらためてお礼を申し上げたい。令和5年度からは「地域の未来づくり懇談会」と名称をかえて、担当部長と一緒に担当課長も出席している。本日も、有意義な意見交換としたいと思うのでよろしくお願いしたい。

テーマ 鳥取市「吉備真備展望公園」（よなぐら）の造成拡大化について

【地元】

令和5年に総代長を受け、公園整備にしっかりと取り組むよう引継ぎを受けた。2年前に河川公園課を訪れた際には、公園としての整備は完了して公園協会に引き渡すので、今後は公園協会と話をしながら実績を作ってくださいという回答だった。看板の整備もお願いしたが、少し検討させてほしいということだった。その後、公園協会と宮司と一緒に公園を確認した。頂上を見た時には見晴らしがよくないので、予算化できたらしたいというような話が公園協会からあったが、なかなか進んでいない。

看板について危機管理課を訪ねたところ、指定避難場所であれば河川公園課が看板を作ってくれるし、それがなかなか難しい状況であれば自主防災という形で危機管理課が取り組んでもよいとの話だったが、それもなかなか実現していない状況である。

この公園を使えるようにしていきたいが、鳥取市が行った整備ははっきり言って公園ではない。ただ切り拓いただけで、草刈りをしても凹凸で転んで怪我をするような状況である。頂上の遊歩道も凹凸や穴があり、子どもが通れば怪我をする可能性もある。

頂上の樹木も全く伐採できていないので、自分たちでも何とか伐採して、ウォーキングでもできるような状態に持っていくたいと思っている。実績として、できるところは取り組んでいる。今日は何とか前向きな話を聞きたいと思っている。

また、町民に吉備真備公園の周知がなかなかできていない。まずは、2か所の入り口に看板だけでも設置してほしい。

【地元】

当時、開発計画図が作成されて地区も所有している。計画図は鳥取県か鳥取市が作ったものだと思う。展望公園の計画図もあり、自治会も賀露神社もこれができるんだと思って見ていた。

平成15年にこの地域は西浜土地区画整理事業の際、自治会と個人の土地所有者で組合を作った。約50年前に鳥取港が重要港湾に指定され、10年間かけて千代川の付け替えがされたが、それ以後の計画の中の一つだと理解している。その際、鳥取市と自治会の話し合いの中で平成15年の要望を出し、それを行政でも検討され、計画図も作られていたという具体的な書類である。

【地元】

思えば22年ほど前からの話であり、なかなか進んでいないという実感を持っている。よなぐらはもともと、1200年ほど前から歴史があり、いろいろな伝説の地であったり、江戸時代の漁業の目印であったり、大正、昭和は冬季のスキーチャンスでもあった場所である。吉備真備が1200年程前に九州沖から流されて賀露に到着されたという故事がある。宮島や取り上がり島、脱衣塚（えなづか）など故事に則った地が多くあり、えなづかには吉備真備公が濡れた衣冠を箱に詰めて埋めたという言い伝えがある。小さな水晶のようなものが発見されたこともあるし、江戸時代には、よなぐらから出た粘土を使って網の重りに使う漁具を焼いていた。賀露焼きという焼き物である。明治になると、綺麗な砂で仏様を迎えるということで、初盆の家を中心に粘土を各家が持ち帰って、お墓に撒いて整地していた。賀露神社と同じく吉備真備を祀っている京都の光明寺が、本日国の文化財審議会で国重要文化財に指定されるというニュースがあった。賀露神社も、吉備真備縁の地を大事にしなければいけないと強く感じているところである。

この件は何度も鳥取市に陳情を行っており、担当者に現地を見てもらっている。展望公園という名前をつける以上、賀露で一番見晴らしのよいところでなければいけないが、樹木が生い茂っていて、それを全て住民や氏子の労力で伐採するには賄いきれない。

町民の憩いの場であり、子どもたちのまち探検の場であり、観光客、近所の方々の非常時の避難の場である、そういう場所として未来を見据えて充実発展していきたいと考えている。

よなぐらは現在7,640m²ほどで、周囲は市有地である。そういったことも含め、どうか前向きに検討いただき、ぜひマリンピアの宝として公園化をお願いしたい。

【地元】

造成する時に公園ができると思っていたのだが、実際に造成が終わった時には、どこに公園があるのだろうかという感じだった。実際に公園へ行ってみると、草が繁茂し、頂上に上がっても木があつて何も見えない。草刈りもしてあるが、除草剤を撒いていないので数か月すれば草が生えてきてしまう状態である。元々どういう話だったのかは分からぬが、町民の中には、このような公園ができて良くなるというイメージを持っていた人もいたと思う。

【河川公園課】

現状であれが公園かと言わると、おっしゃるとおり不評だと思う。令和4年に関係者の皆様と相談させていただき、まずは市がユンボで道を何本かつけた。実は工事はそれで終わりではないが、予算がないのでその年度の工事は終了すると説明をさせていただいたのが正しく伝わっていなかつたようで、申し訳ないと思っている。その後、台風第7号で発生した災害の対応のため、令和5年度と6年度は、通常業務を全て中断して対応に回っている。

ユンボでつけた道については、今年協議の場を設けさせていただきたい。実際にこの前現地を見させていただいたところ、草刈りをしていただいている、できる伐採はしていただいている。おそらく大きな木や届かない部分は業者でなければ不可能な状況だと思うので、委託などの手立てを考えたいと思っている。令和7年度は着手できる予算がないので、令和8年度はここからこのあたりまでというような協議ができるかと考えている。上がり道のところは砂地で足元を取られるので、もう一回ユンボを入れることを検討できればと考えている。今後継続して取り組んでいただけるよう愛護会を結成していただいた。愛護会で草刈りをしていただいた部分については公園協会からわずかながら報酬が支払われる。愛護会で対応できない部分については、我々の予算の範囲内で協力をさせていただきたいと考えている。頂上は360度とまではいかないかもしれないが、鳥取空港から海が見える範囲については、ここ1年、2年の間にできることがないか地域の皆様と協議していきたいと考えている。

平成15年当時の計画図面をどこが作成したのか、今の世代の職員には分からぬのが現状である。平成15年と平成28年の陳情要望の資料として計画図面は拝見したが、当時の市の担当もすでに在籍しておらず、事情が確認できない状況である。ただ、平成15年当時であれば、当時の国補助金を活用してすぐに公園整備ができたはずだが、何かしらできなかつた理由があつたのだろうと思う。今は国の情勢が変わり、国の補助制度が原則インフラの長寿命化に特化しており、新規整備の支援制度がない。賀露の展望公園だけでなく、市内の他の公共空地も児童公園として整備できない状況で、国に対して公園整備できるような制度を復活してほしいと要望しているが、実現に至らない。そのような中なので、我々が今できる範囲については、何とか地域の皆様と協議しながら、少しづつでも進めていきたいと考えている。

【地元】

今までの経過が全くわからなかったので、今の話で少し明るい光明が見えた。市から公園愛護会を結成するよう言われて結成したが、なぜ愛護会を結成したのか当時の経過も分からぬ状況である。

西浜区画整理事業は平成31年に完全に終了したが、検討資料は賀露地区が残している。事業経費などもある程度検討されていたのではないかと思っている。

令和8年度頃から整備を検討してもらえるとのことで、嬉しい。

【地元】

市が整備を継続してくれると聞いて安心している。ぜひよろしくお願ひしたい。幕末には、よなぐらの少し先に砲台があったという記録もあるが、残念ながらその砲台跡はない。宮司によると、浜から鳥ヶ島まで続く西突堤の材料として砲台跡の石を使用したため、現在は残っていないとのことである。つまり、歴史の記録が、思い出と伝承でしか残っていない。

もう一つ、よなぐらの頂上から鳥取港が見える。西突堤は、賀露の港を何とかよくしよう、砂が溜まるのを止めようと明治20年代に建設したものである。それと同時に、千代川の洪水を何とか食い止めようと思って手をつけたがうまくいかず、最終的には昭和50年に「重要港湾」に指定され、やっと本格的な対策ができたという歴史がある。

よなぐらは、賀露の土地の価値をもう一度見直すという意味でも、非常に大切な土地だと思っている。みんなで賀露のまちづくりに使っていきたいと思っている。

【地元】

吉備真備は、遣唐副使として何十年も中国で勉強し、帰国後は右大臣にまでなった人である。賀露地区として、歴史的経過も含めて宣伝していきたい。公園整備の視点だけでなく、歴史的価値があることを理解してほしい。

【地元】

今までの話を聞いて、公園整備において一番大事なのは、ストーリー性だと思う。この地の成り立ちがあれば、非常にPRしやすい土地になるのではないかと思う。ここは歴史的に価値のある場所であることを前面に出して事業を進めてほしい。

【地元】

吉備真備が何らかの形で繋がらないといけないと思う。今の状態では吉備真備とどう関係するのか分からぬ。特に観光客はそう思われると思う。整備している部分が斜面なので、今の取組方では何年かかるとも変わらないと思う。

一つの提案として、例えば樹木を植えるのはどうか。吉備真備にちなんで中国の縁の梅を植え、梅林公園にして春には梅やつつじが下の方まで咲き乱れるような感じにする。それは5年、

10年をかけて実現すればよいと思う。実現したら、観光客も頂上まで上がって見晴らしの良さを体感できると思う。

【地元】

整備について前向きな回答だったが、事業の見通しはどうか。

【河川公園課】

現在はなかなか事業メニューがなく、予算がつかないので非常に厳しい現状である。我々も国土交通省の補助金だけでなく、他の財源も模索しているところである。整備できる財源を探しながら、今できることは少しづつ進めていくという段階方式になるかもしれないが、なるべく早くある程度の形が見えるようにできればと考えている。ここで断言できず申し訳なく思うが、「今回はどこまで」というようなことを地域の皆様と協議しながら進めていきたい。

看板については、ある程度の形が見えたら看板をどう形にするか地域の皆様と協議し、市が設置する方向で検討したいと思う。

この土地が歴史ある所だということは府内でも引き継がれており、平成28年からは観光・ジオパーク推進課、文化財課とも協議している。ただ整備するだけでなく、歴史的観点で何かの形ができるないか、一足飛びにはならないが横連携で少しづつ進めながら、できる範囲で取り組めればと考えている。

現地を確認したが、周りの木が電線や家に伸びており、頂上の樹木のことより喫緊の問題だと思う。公共空地の維持管理と並行して進めていきたい。少し時間をかけながらにはなるが、なるべく皆様と協議しながら進めていきたいと考えている。

【地元】

現在、土地は賀露神社と市の所有となっているようである。よなぐらは賀露神社の飛び地であり、文化の観点から支援が受けられないのか。そうすれば整備が具体的に進むのではないかと思う。鳥取県とは関わりがないか。

【河川公園課】

事業主体が鳥取市になるので、鳥取県が関わるところがない。

【地元】

かろいちの駐車場近くの海拔表示看板に「展望公園（予定）」と表示されており、「予定」と書いてあるからには展望公園はまだ完成していないと認識していた。

【河川公園課】

該当の看板の認識がないので、所管する課を確認する。

【協働推進課補足】

現地を確認したところ、危機管理課所管の避難案内場所看板に展望公園の表示はありませんでしたが、付近の「鳥取・賀露みなとオアシス案内マップ」に展望公園（予定地）の表示がありました。

【地元】

歴史の話もあったが、囲碁は吉備真備が伝えたものなので、そのことも付け加えてほしい。
それと、予算の裏付けがない状態では難しいと思うが、できる範囲内で今後の工程を提示してほしい。

【河川公園課】

今後、地域の皆様と相談する中で、令和8年度の工程、9年度の工程と順次提示させていただきたい。

【地元】

展望公園の草刈りや木の伐採作業を神社総代として行っているが、現状は公園とは言えず、荒れた小山という感じである。人が入りにくい雰囲気で、これでは全然だめだと思う。これから市でいろいろ取り組んでもらえると思うが、賀露地区民がいつでも行けるような場所となり、そして、歴史的な良いところをまず賀露地区民が理解し、全国的に有名な観光地になればと思う。少しずつ積み上げて、そういう未来が見えたらいと思う。

【地元】

予想外の津波が発生した時に観光客がすぐに逃げられるのは、あの高台しかない。道は作ったのですぐに行けるようになったと思うが、それだけではいけない。きれいな展望公園が完成すれば、魚や野菜を買いに来ていた観光客が高台で砂丘も見えるから来てよかったですと言ってくれるかもしれないし、あるいはいずれ展望公園を目的に来てくれるようになるかもしれない。これから南北線ができれば、一つの観光拠点として経済的効果もあるのではないか。観光客がたくさん来られた時に、魅力的な歴史的価値のあることが分かるような看板を作ってほしい。

【市民生活部長あいさつ】

長時間いろいろなご意見をいただき、意見交換させていただいたことにまずもってお礼を申し上げたい。また、この土地が吉備真備との縁を大事にされて、整備に力を入れてくださっていること、また歴史的なお話を聞かせいただき感謝申し上げる。整備にあたりストーリー性を持たせてはどうかといった有意義なご意見もいただいた。今後の整備にあたってもご協力をいただきたい。